

アンケート調査結果

1. 日田市の脱炭素社会の実現に向けたアンケート調査(環境団体用)

(1) 調査概要

1) 調査目的

日田市においては、令和3年8月1日に『日田市ゼロカーボンシティ宣言』を表明し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すこととしています。この目標を達成するためには、事業者の皆様を含め、あらゆる関係者が連携して、地球温暖化対策に取り組む必要があります。

そこで、今年度、日田市において今後どのくらいの再生可能エネルギーの導入が期待できるのか、どのような方法で導入を進めていくべきかについて、調査・検討を進めています。

今回、その検討に際して、環境活動団体の皆様から再生可能エネルギーの利用等に関するご意見をお聞きするための「アンケート調査」を実施することといたしました。いただいたご意見は、今後の再生可能エネルギー導入を検討する際の貴重な資料として活用させていただきます。

2) 調査対象及び配布数

本アンケート調査の対象者は、選出した市内の環境活動団体 10 団体としました。

3) 調査方法

配布は郵送によるものとし、2週間程度の留置き期間を考慮の上、回収は調査票への記入による郵送回収としました。

4) 調査期間

令和5年9月13日(木)～令和5年9月27日(金)

【集計への反映は9月27日(水)到着分までとしました】

5) 回答状況

10 団体中、7 団体（うち 1 団体は 3 つの部会から）の回答状況でした。

6) 調査項目

調査項目は、以下の 6 大項目、16 設問でした。

- ・属性（団体名、代表者（回答者）名、メンバー数、活動頻度、活動年数）【1問】
- ・団体の活動について【3問】
- ・日田市の脱炭素社会の実現に向けての取組みについて【3問】
- ・団体の活動と日田市の脱炭素化に向けた取組みについて【4問】
- ・今後の再エネの普及・利用促進に関することについて【4問】
- ・自由意見【1問】

(2) 設問及び調査結果

1. あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1. 以下の項目について、あてはまる番号を 1 つ選んでください。

設問番号	設 問	回 答
1-1	団体名	
1-2	代表者名 (回答者名)	
1-3	メンバー数	()名
1-4	活動頻度	1. 毎日 2. 週()日 3. 月()日 4. 年()日 5. その他()
1-5	活動年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上30年未満 5. 30年以上 6. わからない

・活動頻度は月1回が最も多く、活動年数はいずれの団体も10年以上30年未満という結果でした。

2. 貴団体の活動についてお尋ねします。

問2. 貴団体の活動形態について、あてはまる番号を 全 て選んでください。

1. 普及啓発	2. 実践活動	3. 調査研究
4. 政策提言	5. 他団体の活動支援	6. ネットワーク型
7. その他()		

回答結果は、以下のとおりです。

1. 普及啓発	8件
2. 実践活動	7件
3. 調査研究	3件
4. 政策提言	3件
5. 他団体の活動支援	3件
6. ネットワーク型	1件
7. その他	0件

問3. 貴団体の活動テーマについて、あてはまる番号を全て選んでください。

1. 環境教育	2. 動植物の保護・生物多様性の保全	3. 森林の保全・緑化
4. 地球温暖化防止	5. まちづくり・地域活性化	6. SDGs・持続可能な開発
7. 水・土壌の保全	8. 環境配慮型消費	9. リサイクル・廃棄物対策
10. 食・農業・生活	11. 美化清掃	12. エネルギー
13. 大気環境保全	14. その他()	

回答結果は、以下のとおりです。(※複数回答)

1. 環境教育	8件
2. 動植物の保護・生物多様性の保全	2件
3. 森林の保全・緑化	3件
4. 地球温暖化防止	6件
5. まちづくり・地域活性化	5件
6. SDGs・持続可能な開発	2件
7. 水・土壌の保全	4件
8. 環境配慮型消費	3件
9. リサイクル・廃棄物対策	5件
10. 食・農業・生活	1件
11. 美化清掃	4件
12. エネルギー	1件
13. 大気環境保全	1件
14. その他	0件

問4. 貴団体の主な活動内容についてお聞かせください。

回答結果は、以下のとおりです。

- ・月2回大山町内の小中学校のある通学路のごみ拾いをしている。
- ・高瀬川に清流を復活させる取組みを進める。
- ・高瀬川に清流バイパスを建設し、ダム下流に清流を復活させるために、国・県・市・九電への要請活動を行う。清流バイパスが完成し、(令和3年3月24日)令和3年4月3日竣工式を実施した。
- ・今後は高瀬川を中心とした「賑わい」を創り出し、地域活性化に取り組んでいく。
- ・山から町までの木材流通について、学びながらものづくりのWS等を行うことで、林業の流れの理解を深めていく。
- ・日田の地域ごとの自然環境を調査し、報告書を作成するとともに提言を行う。また、外来生物の防除活動なども行っている。
- ・三隈川、大山川等、市内河川の清流復活を目指して、行政、河川管理者、学識経験者、市民等へ啓発提言活動を行っている。
- ・脱原発と地球温暖化防止のために省エネルギーの推進、自然エネルギーの利用促進に取り組む。

- ・ごみ減量、リサイクル、緑化活動、景観・歴史・文化の保存に取り組む。
- ・川開き観光祭前のおもてなし清掃
- ・千年あかり火付け応援（主催九州電力～亀山公園付近一帯）
- ・川開き観光祭「ひろえば街が好きになる運動」（主催 JT～ごみ啓発活動）
- ・マイバッグ啓発活動（市内のスーパー・ストア）
- ・大原神宮放生会（ポイ捨て等防止啓発活動）
- ・健康福祉まつりでの部会活動の訴えと勧誘及びアンケート収集
- ・千年あかり火付け応援隊
- ・環境研修視察
- ・環境パネル展への出品と活動内容告知
- ・廃油せっけんづくり、布ぞうりづくり、ミニ門松づくり、その他のリサイクル作品の作成 ・こども園、小学校での子どもたちへの環境学習他
- ・必要に応じての会合
- ・「消費者の権利の実現とくらしの向上、消費活動の活性化と消費者運動の発展に寄与すること」を目的として、街頭啓発活動や視察研修、廃油せっけんづくりなどを行っている。

3. 日田市の脱炭素社会の実現に向けての取組みについてお尋ねします。

問5. 日田市では、令和3年8月1日に、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「日田市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。この「日田市ゼロカーボンシティ宣言」についてあてはまる番号を1つ選んでください。

1. 知っている 2. 内容は知らないが聞いたことはある 3. 聞いたことがない

回答結果は、以下のとおりです。

1. 知っている	4件
2. 内容は知らないが聞いたことはある	1件
3. 聞いたことがない	4件

問6. 問5で「1. 知っている」、「2. 内容は知らないが聞いたことはある」と回答された方にお尋ねします。「日田市ゼロカーボンシティ宣言」をどのような方法で知りましたか。あてはまる番号を1つ選んでください。

1. 市のホームページ 2. 市の広報誌や回覧板 3. インターネット・SNS 4. 新聞
5. その他()

回答結果は、以下のとおりです。(※1つ以上の回答分も含む)

1. 市のホームページ	1件
2. 市の広報誌や回覧板	4件
3. インターネット・SNS	0件
4. 新聞	1件
5. その他	0件

問7. 日田市が脱炭素社会を実現するためにはどのような取組みが必要だと思いますか。考えを自由にお聞かせください。

回答結果は、以下のとおりです。

- ・個人個人が気を付ける。①できるだけ車を使わずに歩く or 自転車など。②無駄な電気を使わない。③畑に野菜をつくるなど…自給自足的な生活様式へ。
- ・行政の力で市内の企業へも働きかける、市民への啓発活動をする。
- ・環境基本計画に書いてある事を実践していく。
- ・「水」の環境を良くする。
- ・小さな範囲で経済がまわる様にできる。
- ・日田の環境（豊富な森林や水など）を活用した取組み。
- ・各事業所、家庭での省エネルギー対策及び自然エネルギー利用促進。

- ・学校教育・社会教育・事業所等で出前講座等により、気候変動問題に関する啓発活動をこまめに行う。その際市内に在住する地球温暖化防止活動推進員や、環境カウンセラー等を積極的に活用する。
- ・車の省エネに重点的に取り組む。高速バス等の公共交通機関の利用、徒歩や自転車の推奨、エコドライブの普及啓発を推進する。
- ・「新清掃センター」建設にあたっては、CO2 排出抑制・再エネの活用等を重視した計画剪定を行う。
- ・生ごみ処理用水切りバケツの全戸配布を復活させる。
- ・入り口はまずマイバッグなどの取り組みから始まり、新電力や電気自動車まで取り組むのが良いが、自分個人が取り組めるものから取り組む。(また、市はその段取りを応援できる形を作る)。
- ・植林
- ・公共交通機関の充実

4. 貴団体の活動と日田市の脱炭素化に向けた取組みについてお尋ねします。

問8. 貴団体の活動は、日田市の脱炭素社会の実現に貢献できると思いますか。あてはまる番号を 1 つ選んでください。

1. 思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

回答結果は、以下のとおりです。

1. 思う	4件
2. やや思う	2件
3. あまり思わない	2件
4. 全く思わない	0件

問9. 問8で「1. 思う」「2. やや思う」と答えた方にお尋ねします。

貴団体の活動が、日田市の脱炭素社会の実現に向けてどのように貢献できると考えるか、具体的な内容をお聞かせください。

回答結果は、以下のとおりです。

- ・月2回ごみ拾いを続けて約20年になる。2022年は「大分県うつくし作戦」にて、県知事表彰を受けた。
- ・林業を学ぶことで「近くの素材を使ったほうが良い」ことを伝えることができ、運搬で排出されるCO2を削減することができる。
- ・各家庭への省エネルギー等の生活改善への啓発活動。
- ・発足当初から省エネルギー、自然エネルギー、ごみ減量やリサイクルの普及啓発を必要な活動内容としているので、その活動を一層充実させることにより、貢献できると考える。できれば調査研究活動や提言活動にも取り組んでいきたい。
- ・毎年、消費生活展を本庁ロビー1階で開催しており、環境問題をテーマに展示を行っているため、市民への意識づけのきっかけとなると考える。

問10. 問8で「3. あまり思わない」「4. 全く思わない」と答えた方にお尋ねします。

貴団体の活動が、日田市の脱炭素社会の実現に向けてどのようき貢献できると思わない理由をお聞かせください。

回答結果は、以下のとおりです。

- ・本団体は、高瀬川の水質改善および地域活性化の取組みが主体なので、直接的には市の脱炭素社会の実現の貢献は薄いと思っている。
- ・自然環境の維持には貢献しているが、直接の関連は薄い。

問11. 貴団体が日田市の脱炭素社会の実現に向けた活動を進めるうえで、行政に期待すること(役割)や連携した取り組みの可能性についてお聞かせください。

回答結果は、以下のとおりです。

- ・生ごみの処理バケツ（水切り付き）を全市に是非とも斡旋してほしい。これは、全市民・一日三食毎日のことで、市民全体のためにひいては日田市のために必要と思います。ずっと以前1回やってもらったが、もう破損が激しい。
- ・日田市は「水郷ひた」を標榜しているが、三隈川を流れる水は、質・量ともに誇れるものではない。上流にはダムが3つもあり、水量不足が原因である。水量増加がない限り改善はおぼつかない。改善のもうひとつは、各河川の上流の森林植生の見直しを図る必要がある。①屋根や急斜面地、溪谷地には土砂災害防止のため、その地にあった潜在植生をよく見て、広葉樹に転ずること。②伐期を迎えた人工林は、伐採後、人工林と広葉樹の比率を 50:50 に近づけるよう指導すること。③放置林は森林環境税を利用して買い上げ、山岳林として育林する。森林植生を見直すことにより、CO2の九州が大きく改善され、脱炭素化に近づくと考える。
- ・日田市はこれまでも環境課題や自然保護に積極的に取り組んでこられた。多様な環境の確保や生物多様性を進めることが結果として地球環境を守ることになる。
- ・脱炭素社会の実現モデルを提示し、事務所や家庭、個人へ実施した際の優遇措置を用意し、広く伝える。
- ・ひた市民環境会議の存在を学校教育や社会教育の関係者にもっとアピールして、学校や公民館等の出前講座の講師として活動できるようにお膳立てをしていただきたい。
- ・活動再開したので、コロナ禍前のような予算措置（講演会の講師を招くための費用等）を復活していただきたい。
- ・地産地消にて、他の都市との関係をつなげてもらいたい。食について生産・流通等。
- ・市民・団体への取り組みや導入について、助成金等の支出などを柔軟に考えていただくことや、新取り組みについての部門をつくる。
- ・日田市は九州のおへそと言われるほどアクセスには良い場所のため、バスや電車などの公共交通機関が充実すれば、車の利用が減少し、脱炭素につながると考える。また、消費者団体連絡協議会では、消費者へ環境問題への意識を持ってもらうために、廃油せっけんづくり等の活動を行っている。このような活動が我が団体のみではなく、ほかにも広げられたら良いと思う。

5. 今後の再エネの普及・利用促進に関することについてお尋ねします。

問12. 2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、今後、市が積極的に取組みを進めていくことについて、どのように考えますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 積極的に進めるべき | 2. 事業性や経済性を考慮して進めていけばよい |
| 3. そこまで積極的になる必要はない | 4. わからない |

回答結果は、以下のとおりです。

1. 積極的に進めるべき	8件
2. 事業性や経済性を考慮して進めていけばよい	1件
3. そこまで積極的になる必要はない	0件
4. わからない	0件

問13. 脱炭素社会の実現には、地球温暖化の原因である温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーを最大限に導入することが重要な鍵の一つとされています。再生可能エネルギーの普及について、どのように考えますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 積極的に進めるべき | 2. 事業性や経済性を考慮して進めていけばよい |
| 3. そこまで積極的になる必要はない | 4. わからない |

回答結果は、以下のとおりです。

1. 積極的に進めるべき	7件
2. 事業性や経済性を考慮して進めていけばよい	2件
3. そこまで積極的になる必要はない	0件
4. わからない	0件

【その他の回答】

・水力・風力発電のすすめ

問14. 今後、日田市において導入を進めることが特に重要な再生可能エネルギーは何だと思えますか。あてはまる番号を2つまで選んでください。

1. 太陽光発電 2. 太陽熱利用 3. バイオマスエネルギー 4. 風力発電 5. 中小水力発電
6. ごみ発電・ごみ焼却排熱利用 7. 水素エネルギー 8. その他()

回答結果は、以下のとおりです。(※2つ以上の回答分も含む)

1. 太陽光発電	5件
2. 太陽熱利用	3件
3. バイオマスエネルギー	4件
4. 風力発電	1件
5. 中小水力発電	7件
6. ごみ発電・ごみ焼却排熱利用	3件
7. 水素エネルギー	0件
8. その他	1件

【その他の回答】

- ・水の自然流下

問15. 様々な再生可能エネルギーの中でも、太陽光発電システムが比較的導入しやすいとされています。今後、どのような施設・場所に太陽光発電システムの設置を進めるべきであると思えますか。あてはまる番号を2つまで選んでください。

1. 学校等の教育関係施設 2. 避難所となる施設 3. その他公共施設
4. 工場・事業場 5. 住宅 6. 商業施設 7. 耕作放棄地等の未利用地
8. その他()

回答結果は、以下のとおりです。(※2つ以上の回答分も含む)

1. 学校等の教育関係施設	3件
2. 避難所となる施設	4件
3. その他公共施設	5件
4. 工場・事業場	1件
5. 住宅	5件
6. 商業施設	3件
7. 耕作放棄地等の未利用地	2件
8. その他	4件

【その他の回答】

- ・もう30年も前から太陽光発電をしているが、最近特に九電の買い取り額が大変安い。電気料にもならない！企業の方へもっと申し入れをしてほしい。
- ・1～6までの施設について、優遇策を用意し実施。
- ・森林と農地、景観地を除く色々な場所や建物に積極的に設置することが望まれる。
- ・農業倉庫、森林組合、道路の法面

6. 最後に自由な意見をお聞かせください。

問16. 再生可能エネルギーについてのご意見、市の取り組みに関する要望・取り組みのアイデア等がありましたら、ご自由に記入ください。

区 分	意見数	主要な意見
再生可能エネルギー導入に関するご意見	5件	・市の特性を生かした再生可能エネルギーの導入 ・導入にあたっての補助金制度
環境団体としての取組に関するご意見	1件	・太陽光発電の景観問題
市としての取組に関するご意見	10件	・太陽光発電に関する費用面
合 計	16件	—

<自由意見一覧>

再生可能エネルギー導入に関するご意見【5件】	
1	日田市で再生可能エネルギーを進めるには、市の特性を生かした取組が必要と考える。豊富な森林資源を活用した小規模のバイオマス発電所をもっと拡大する取組を進めてはどうでしょうか。上・中江地区、前大山地区、大鶴・夜明地区、西・東有田地区、三花（小野含む）地区、高瀬・五和地区など可能な地区から小規模なバイオマス発電所を設置し、発電とコージェネによる地産地消を図っていくという考えです。
2	令和5年度3省連携 ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の推進を図ってはどうでしょうか。（環境省 HP による）ZEH は省エネと創エネにより年間の一時エネルギー消費量の収支がゼロになることを目指した住宅を言います。①断熱性が高い壁や窓で夏は涼しく、冬は暖かい室内環境 ②省エネの家電や設備で使う電気量を減らす ③太陽光発電で電気を創って使う これら3つの工夫により、過程で使う電気と創る電気の量をプラスマイナスゼロにすることを目指した住宅が ZEH です。総務省・国交省・環境省の3省による支援制度がある。東京都ではさらに上の段階である「ゼロエミッション住宅」の普及・促進に取組み、すでに2023年度から高性能な戸建住宅、集合住宅を新築する人を対象に「東京ゼロエミ住宅」という補助制度が導入されています。日田市として ZEH の取組を具体的に進めてはどうでしょうか。
3	日田市に豊富な森林資源を再エネとして活用するために、木質バイオマス熱利用を推進する。周年で給湯需要がある施設（病院、福祉施設、温水プール、旅館、ホテル等）のボイラー更新時には、石油焚ボイラーではなく、木質バイオマスボイラーを導入するよう（後述する補助金活用とセットで）協力を推奨する。また、一般家庭や店舗等にも薪ストーブやペレットストーブの導入を推奨する。初期投資への助成のため、これらの木質バイオマス燃焼器具の導入に対する日田市独自の補助金制度を創設する。
4	日田市内に新たな小水力発電所が建設されるよう、調査計画策定、水利権の調整、設備導入への支援（公費による助成）を行う。
5	前津江の椿ヶ鼻に、かつての風太郎・風子と同じレベルの風車を再建する。また、前津江、上津江の県境付近に年間平均風速6m以上の強風エリアが存在するので、このような場所に風力発電所を誘致する。
環境団体としての取組に関するご意見【1件】	
1	産業用の太陽光発電の設置にて、現在、湯布院の方で設置許可が官庁から出ていますが、地元住民から景観等のクレームが出ています。観光等に関しては、マイナスイメージになるとの事です。日田でも高井町川下の筑後川付近では、川に近すぎた設置で水に流されたり、ショート心配もあるでしょうし、天瀬町女子畑付近では、景観の問題や天瀬町湯山付近では、山菜取りの場所がなくなったと嘆く老人がいました（あくまで土地の所有者がいる訳ですので、個人的見解です）。ですから何か設置前に規制が統合的にできないかと思います。わたしたちの団体が、ごみ・リサイクル・景観部会ですので。
市としての取組に関するご意見【9件】	
1	市の啓発活動、市民の理解・実践が必要と思います。市役所の方もとても多忙とは思いますが、町内や地区を小さく分けて、そんな学会が欲しいですね。そして必要な所に予算措置も。
2	日田市では、今まで環境についてかなり進んでいたのではないかと思います。先人の人たちが頑張ったことに加えて、新しい技術を取り入れながら、「水」や「山」をテーマにどんどん進めて欲しいです。水力発電で日田が日本一になって欲しい。
3	脱炭素社会の実現や、再生可能エネルギーの取り組みの本質（目的）は、地球環境の保全にあるのであり、これらの取り組みは大切であるが、そのことに留まってはいけない。

4	容量不足を利用に送電線の増強費用の負担を発電事業者が送電線を支配する電力会社に要求され、これが原因で再エネの導入がストップしている事例も多い。このような場合は、日田市がその費用を肩代わりすることで、再エネ導入の隘路を取り除くという仕組みをつくる。
5	九州では、4基もの原発が再稼働し、再エネよりも原発を優先させる国の優先供給ルールにより、再エネの出力制限が頻発している。ルールを再エネ優先に改め、原発への依存度を下げよう国に具申すべきである。
6	日田市が自活できていた第一次オイルショックの時代を見直したい。
7	上下差を落とした用水の利用の見直し。
8	温水器（太陽式）の導入。
9	夏の日陰をつくること。
10	再生可能エネルギーで太陽光発電で、電力会社からの売電の価格が10年を経過したら、ずっと金額が下がるので、市や県、国から電力会社へ向けて10年過ぎてももう少し売電の買い取り価格を上げるように働きかけてほしい。